

平成30年6月

GSAS 会長 井野公雄

GSAS 会員 山口幸治

平成30年6月14日(木)、ホテルメトロポリタン高崎において、平成30年度第9回通常総会が会員28名の出席にて開催された。総会は円滑に進行し、予算・事業計画が承認された。

総会後に、前橋工科大学社会環境工学科 准教授 谷口望氏が『魅力ある橋梁の世界～橋梁設計から学ぶ新たな視点～』をテーマとした記念講演が開催された。講演内容は、以下の通りでした

★土木構造物の種類

- ・欧米では土木と建築の区別はしていない
- ・道路構造物と鉄道構造物では設計基準が異なる。
- ・代表的な橋梁形式を説明。

★土木構造物の設計

- ・安全性・使用性・復旧性・耐久性(維持管理性)の性能を満足させる
- ・設計における照査

(疲労設計、たわみ制限、剛性規制、支承設計、騒音対策)

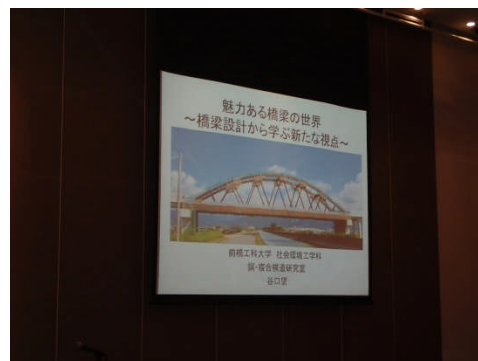
★土木構造物の施工

- ・仮組み立て検査、塗料数量検査、溶接の品質検査・技量検査

★土木構造物の維持管理

- ・目視点検が基本
- ・良く起こる変状(腐食・亀裂)

【土木は大きな活荷重が繰り返し頻繁に通る。活荷重は高速な場合もある】



【講習会の様子】

【講習会パンフレット】

GSAS&JSCA 講演会 【主催】 一般社団法人群馬建築構造設計事務所協会
【主協】 一般社団法人日本建築構造技術者協会群馬県サテライト

魅力ある橋梁の世界
～ 橋梁設計から学ぶ新たな視点～

日時：2018.6.14(木)
15:10～16:45 (受付：14:40～)

場所：メトロポリタン高崎 丹頂Ⅱ
高崎市八島町222番地
TEL.027-329-3311

建築とは異なる視点で設計される橋梁。建築ではあまり気にしていない事柄が、橋梁では重要なファクターとなっています。多彩な構造形式の橋が架けられている群馬は、そんな事例の宝庫でもあります。多くの橋梁設計に携わってきた谷口氏を講師にお迎えし、橋梁設計について学び建築構造の新たな視点を浮き彫りにします。

講師：谷口 望 氏 前橋工科大学 社会環境工学科 准教授

経歴
1996年 群馬大学 理工学部 土木工学科卒業
1998年 群馬大学大学院 理工学研究科 修士課程修了
2001年 群馬大学大学院 理工学研究科 博士課程修了
2006年 東日本旅客鉄道 神奈川支店 施設技術主任
2007年 鉄道総合技術研究所 橋梁部研究開発 主任研究員
2008年 京浜東北線 工学部 社会基盤安全工学講座 特任助教
2010年 鉄道総合技術研究所 橋梁部研究開発 主任研究員
2013年 前橋工科大学 社会環境工学科 准教授

委員会
2015年～ 日本鋼構法協会 鋼橋の強靱化・長寿命化研究委員会 合理化設計研究部
2015年～ 土木学会 鋼橋委員会 既設鋼橋物の劣化診断と補修力への構造解析技術に関する小委員会
2016年 土木学会 社会構造委員会 鋼橋補修部 劣化診断小委員会
2017年～ 鋼橋技術研究会 鋼橋の劣化補修設計部
2017年～ 土木学会 鋼橋部 鋼橋部年報の高度化・調査研究委員会